

ラストスパート月間積立増資増やそう!

あかるいまち21

No.1121号 2018年3月26日 組織部 TEL082-532-1264

	3月累計	4月～2月
組合員ふやし	60人	1215人
出資金ふやし	1672万円	9734万円
純増	432万円	67万円

第3回 福島生協病院ボランティア交流会を開催

福島生協病院の新築移転時から、総合待合コーナーでの案内や駐車場での誘導などを中心にボランティア活動をしているボランティアの会が、3月15日に3回目の交流会を開催し、11名が参加しました。「ストレッチャーで来院される患者さんが、付き添いの方が入院手続きなどを行っている間、待合室の一角で横になったままでおられるのが気の毒。どこかにスペースができないかなあ」「新病院オープンから2年半で、待合室の椅子にシミなどができている、今ならまだシミ抜きできるよ」など、職員ではなかなか気が回らない細やかな気づきが出し合われていました。また、「受付職員の対応はさすがプロだなと感心する」などお褒めの言葉をいただいたり、病院周りの枯れ木や雑草を暑くなる前に抜いてしまおうと4月5日(木)10時からと日程まで決めていただきました。大変お世話になっていきます。ありがとうございます。



☆ 福島生協病院では、病棟での見守り・話し相手のボランティアさんも募集しています。

ボランティア希望の方には事前に、看護部長より留意点などお話をさせていただきますので、安心ですよ。ご希望・お問合せは組織部までご一報ください。電話 532-1264

患者さんも思わず笑みが…署名に折り鶴を添えて



3/19(月)横川三篠支部はインフルエンザ等の流行期ということで一時中断していた「安倍9条改憲NO!」福島生協病院待合署名行動を再開しました。

この日は、K支部長さんが署名をした方に折り鶴を差し上げるためにとコツコツおられた「パタパタ鶴」と「折り鶴しおり」を手に署名に臨みました。

病院の待合の行動は、患者さんのお身体や気持ち的にいい状況とは言えない中での依頼となるのでとても神経を使うのですが、署名をいただいた方はみなさんほっこりとした笑顔に。近くの患者さんも横目で興味を示されている様子が見て取れ、いい雰囲気となりました。多分これがティッシュなどではなく「折り鶴」だからこそだと感じます。佐々木貞子さんのエピソードから平和を願う人々の心の象徴となった折り鶴。広島県民・平和を願う全ての人々にとっては特別のものなのだと改めて感じました。

協同組合がよりよい社会を築きます